



じんせい

藤原奈津子 細木ユニティ病院US5病棟看護長

社会医療法人仁生会細木病院グループ情報誌

<https://www.jinseikai.kochi.jp/>

2019(平成31)年

1

No.385

恭賀新年

年頭所感

2019



社会医療法人
仁生会 理事長
細木 秀美

(撮影：細木病院診療部麻酔科部長 畠中豊人)

明けましておめでとうございます。平成の時代、最後の年の幕が開きました。50年振りの東京オリンピックを控え、今年はどうなる年になるのでしょうか。ワクワクします。昨年は、いろいろと自然災害の多い年でした。今年は平穏無事な1年でありませうと祈っています。

安倍首相が人生100年時代を宣言して2年目。リンダ・グラットンの書物によると、10歳の日本人が107歳まで生きる確率が、このまま経過すると、何と50%もあるそうです。現実、50年前には100歳以上の日本人は258名だったのに、一昨年は何と7万人に近づくありさまです。このままでは、きっと、日本中が寝たきりの方であふれかえることでしょう。人間は必ず年を取って、身体も頭も全身が次第に衰えます。100歳を過ぎるころには、老衰でPPK(ピンピンコロリ)で天国に行きたいものです。少なくともNNK(ネンネンコロリ)にはならないように、各自が気を付けて、健康に人生を過ごしていただきたいと思っています。麻生副総理が「好き勝手に病気になる人の治療費を、日々健康管理して元気でいる人が担うのはおかしい?」と言われたことが少し分かるような気がします。元気で過ごしておられる多くの皆様は、日々の食事に気を付け、脳の体操、身体体操に、見えないところで、打ち込んでおられると思います。

私は今年、78歳と喜寿を過ぎた年齢になります。私の父母はともに70歳で天国に逝っています。祖父母はともに85歳だったが…。私も長生きしたなあ、最近では思っています。否、否、否に老いを感じる数々のことに気付きます。

はじめました。ちゃんと歩いていると思っているのに、話に夢中になつていると真っ直ぐに歩いていない。久し振りに出会った友人や、知人の名前がすぐに思い出せず、話を合わせているうちに、「どなたでしたかねえ」と聞く。すると相手は、自分の苗字を答えてくれる。その時に「苗字は知っているのですが、下のお名前は?」と聞いたりして、ごまかしてしまう自分がいる。また、朝には、今日はこれとあれをしよう、といくつか思っていたのに、いづつかどうしてか思い出せない。謡のお稽古でも、正座がしにくくなつて、立ち上がる時に、片手をつく。眼鏡がないと新聞や本が読みづらい。病院の会議でも、女性の話す声が聞き取りにくい。先日知らない間に歯が動き始め、驚いて歯科を受診すると抜かれてしまい、入れ歯を作る羽目になったなど…。昨今の人生100歳の掛け声とは裏腹に、日ごと老いを感じながら生きている。

先日、雑誌「話の特集」の編集長、矢崎泰久さんの書いた物にふれて、今からの毎日の注意点に気付いた。それは、みずぼらしい老人にはなるな。醜いだけでなく、汚く見える。実に哀れ。それに加えてヨボヨボで頼りなく見える。しかも、ひがみっぽくなる。街を歩いていても、いつも「人の振り見て、我が振り直せ」と思うこと。また、「ボロは着ても、心は錦」の言葉どおりに、いつまでも気持ちだけは常に青春時代であり続けることの大切さを説いています。若い方々はもちろん、どんなに年を取っても、清々しく生きていきたいですね。

今年もどうかよろしくお願い申し上げます。

細木病院
院長



堀見 忠司

今年もまた新たな年が巡ってまいりました。日本人にとって、正月は最大の国民的行事であり、「今年こそは……！」とか「今年は何とか……！」と真剣に考える時でしょう。

昨年の年頭所感を振り返ってみました。私が認めた細木病院（315床…一般162床、療養153床）におけるモットーは、『われわれは、変化によって進化し、創造性をもって進歩する』と謳っていましたが、昨年も大きな変化のもとに進化が見られました。まず、細木ユニティ病院（184床…精神148床、療養36床）との再統合の準備が順調に進んだことです。昭和40（1965）年1月に開設された細木病院精神科は、平成9（1997）年4月に医療事情により分離、独立し、細木ユニティ病院として発足していましたが、今年4月には細木病院と再び統合されようとしています。また再統合された細木病院は、わが国の保健医療政策により、ベッド数や病床機能を修正し、少子高齢化が進む中で認知症などこれから増加する疾患に対して新たな地域医療や施設連携をもって対応していきたいと考えています。

また当院は、糖尿病や消化器内科などの内科系診療や小児科が充実しており、多くの県民、市民にご利用いただいています。今年さらには心臓疾患

や循環器疾患医療も加わって、地域の方々に貢献する予定です。そして外科系では、整形外科疾患が大変多くなっています。手術の必要な患者さんが増えているため手術症例が多くなり、手術術式も斬新な方法が開発され、患者さんたちに大きな福音をもたらしています。

一方、今年特に力を入れたいのは、接遇と広報です。接遇は、患者さんを中心とする来院者に対して、満足いく対応をするためにも、患者さんを待たさないようにし、常に敬語を使い、小さな親切の積み重ねを実践するように改めて思考しています。また広報では、スマートフォンやSNSに対応するホームページの充実とチラシや配布物などの活用などはこれから特に必要になってくるものと考えられます。

さらに今年は、地域包括ケアシステムの充実、介護医療院の新設、在宅医療の拡大などこれからの医療における重要な課題が山積みされています。そして今年も「医療の質」と「患者満足度」を高めるために、職員一同、皆で歩調を合わせ、ともに努力し、常に精進するように努力していきたいと考えています。

今年も皆さんが、満足していただけるような細木病院の舵取りをしていきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



平成31年 年頭所感

細木
ユニティ病院
院長代行



吉岡 隆興

明けましておめでとうございます。細木ユニティ病院は、4月より、細木病院と統合します。地域連携の中で、特に認知症に対して総合的かつ即時的な対応を可能とし、ダイナミックに変革いたします。

私の認知症治療の原点は、20数年前のある人との出会いでした。認知症として入院された高齢の方でしたが、その方は、若いころ軍人として、戦艦大和に乗り組んでおられた方でした。機密書類の保管担当をなさっておられたということで、かの有名な山本五十六司令長官に対してさえ、書類室に入るときは本人確認（誰何）をしていたということです。詳細な理由はわかりませんが、戦後はずっと田舎で学習塾をされていた方でした。次第に認知症が進行し、入院となり私が主治医となりました。当初、疎通性のとれない方でしたが、その方の来歴を知っている私は、常に敬語を使い人生の先輩として対応していくうちに、かなりの明確な応答ができるようになり、威厳に満ちたものになりました。もっともときどき失見当識が現れ、「今、軍医殿はどちらの艦に乗っておられますか」と声をかけてこられ、私が「現在は陸に上がっております」と答えます

と「ご苦労様です」と言われました。当時は認知症レベルになると、人生の終末であり、ただ食事をし、睡眠をとる生活を維持していくことでしか対応できないと考える時代でしたが、私と話をする時の生き生きとした健康そうな表情を見て、認知症を診るということとは、その人があって現在のわれわれがあるということであり、患者さんは、「今を生きている」ということであるうと痛切に感じたことでした。

当院もこれから多くの高齢者や認知症の診療をすることになりますが、それは、常にその人が「今生きている世界」に寄り添うことであり、その人なりの尊厳に満ちたものであるべきであると考えます。これはある意味で、これまでの医学や看護学に相反することであり、非常にストレスのあるものです。さらに病態は超急性期から超慢性期におよび、本人からの情報は不確かなうえに、点滴などの治療にも抵抗することが多く、これほど難しい領域もないと思います。しかしながら、当院の看護師たちの仕事ぶりはすばらしいものがあり、十分対応していけると確信しています。本年も全スタッフとともにいい仕事をしたいものです。

— 仁生会年報 完成！ —

2017 第 19 号



発刊に際してのご協力に深く感謝申し上げます。

仁生会年報編集委員会

三愛病院
院長



深田 順一

明けましておめでとうございませう。年頭に当たり、一言、所感を申し述べます。

私は三愛病院にお呼びいただき、今年で4回目の正月を迎えることとなりました。皆様は親しい方々と寛いだ時間を過ごしていただけにいるものと拝察しますが、この機会ですので、三愛病院の昨年、そして今後を、ポイントごとに少し語ってみたいと思います。

まず、頑張ったな、と思う点ですが、私が着任以来、力を入れてきたつもり、安全な医療の推進、という点が、やっと少し実を結び始めたかな、ということとです。医療を行っていく中で起こりがちな手ばかりやミスには、お薬に関するもの、ドレーンチューブ類に倒れる、褥瘡予防、皮膚への傷などという3大トラブルがありますが、私はこのうち、お薬関係のトラブルを何とか減らしたい、と、毎月の委員会で、いわばこれを目の敵にしてみました。その結果、とっては何ですが、2016年に比べ、2017年、そして昨年2018年は、現場での薬トラブルが2年続けて3年前の半数近くに減ったことが、昨年暮れの委員会の集計で明らかになりました。2年続けて、というところがうれしいところで、入院中、入所中の方々に、お薬を確実に飲んでいただける環境に、ぐっと近づいたかな、と思っています。

2つ目は地震対策です。昨年末、当院独自の震災時の(病院)事業継続計画(いわゆるBCP)の第1期分が完

成しました。これで「発災後、院内災害対策本部が立ち上がるまでの間、それぞれの職員が自主的に行うべき行動」をまとめることができました。これは当院に從來からある防災委員会の下に新たに作ったワーキンググループ(WG)の会合を、1年半の間に33回開催して、何とか辿りついた結果です。WG、すなわち目的と期限を決めて、小グループで何かを成し遂げる、という仕事の仕方を、皆で共有できた、この経験を今後に生かしたいと思っています。新年からは第2期分として、災害対策本部機能WG、救護病院機能WG、在宅関連機能WGの3つが立ち上がり、今年秋を目途に成案を得る心算です。ご期待ください。

そして3つ目は、迫ってきた三愛病院・病棟再編に向けての青写真づくりです。こちらにも仁生会本体の中期計画「イマジン」の伴走を得て、昨年末に何とか原案、というところまで来てことができました。この事業は、既に述べた2つに比べ、緊急性はより高いものの、行政などとの調整があつて初めて作業が具体化する、という側面を持つため、多くの職員の方々が気を揉んでおられるのは分かっていながら、公表が遅れていました。昨年末の運営会議で、アウトラインをお話しすることができましたので、本年は、まず行政からの援助内容を再編スケジュールに落とし込みますが、その後も、節目節目で説明を行っていきますので、そのような機会にはぜひ説明の場にご出席いただき、ご理解をいただきたいと思います。

世間では、今年もいくつ大きな事故が計画されていますが、世の中、何が起るか分かりません。ただ、日々、すべきことをコツコツ行う、ということとは、医療の世界に身を置く我々に課せられた使命と思っています。本年もよろしくお願いいたします。

日高クリニック
院長



松本 和博

明けましておめでとうございませう。皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

昨年は、日高クリニックにとって大変な試練の年でした。日高村は国の想定より高齢化が進んでいます。人口減少も顕著です。クリニックの努力だけではどうしようもできない大きな介護、医療の荒波が押し寄せてきました。特に、職員確保と多職種間の連携に苦勞しました。今後も働き手が減少していくので、医療職の人手不足も加速していくと考えられます。昨年のある学会で、厚生労働省から、このことへの対応策は「IOTやAIを活用した労働生産性を上げること」、「女性の結婚・出産・育児に伴う労働機会の損失を極力防ぐこと」、「65歳以上の雇用を増やすこと」、「外国人労働者を増やすこと」の4つであると述べられています。どれもすぐには難しいが、本格的に検討する時期に入っているように思われました。

さて、今年は亥年。「亥」は干支の12番目、一番最後の年です。来年はまた最初の「子」に戻ることを考えると、新しい段階が始まる準備の年といえます。猪突猛進といいますが、猛進しすぎないように、日高クリニックのそれ

ぞれの部署が目標に向かって、患者さん目線で進んでいってほしいと思います。

ここで、亥年にまつわる出来事を2つ紹介します。まず、亥年は選挙の年です。4年ごとの統一地方選挙と3年ごとの参議院選挙の2つが重なる年が、12年ごとの亥年に当たります。自民党を悩ますジグザグがあるようすが……。もう一つは、なぜか亥年に地震が多いといわれています。日本海中部地震、阪神・淡路大震災、新潟県中越沖地震と12年ごとに大きな地震が発生しています。ただ去年も、北海道や大阪の地震、西日本豪雨、相次いだ台風や記録的な猛暑などの自然災害で多くの人が被災しています。今年も去年同様、自然災害への備えが必要になりそうです。

今年、2019年5月には天皇陛下が退位され、今の皇太子殿下が新しい天皇になられることで元号が新しくなります。天皇が変わるごとに元号を変えて「一世一元の制」により、30年続いていた「平成」ともお別れの時がやってくることとなります。明治、大正、昭和、平成に続く新しい元号は何になるのか、非常に興味をそそられます。

最後になります。が、この新しい年がより良き年になるように祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。





細木ユニティ病院
グループホーム管理者
精神保健福祉士
坂本 万理



細木病院
病棟クラーク
高橋 由佳

明けましておめでとう
ございます。仁生会へ入
職してから早いもので23
年が過ぎました。この間
に部署も医療相談室から
グループホームへと変わ
りました。いつも利用者
や職員の方々に助けてい
ただいたおかげでこれま
で勤めてこられたと感謝
しております。

精神保健福祉士は、人
と人とのつながりを大切
にする職種です。今年も
これまでに培ったつなが
りを大切にしつつ、新た
なつながりに広がってい
きたいと考えています。そ
して、つながりを活用し
て、利用者や地域生活が
実現できるように支援し
たいと思っています。今
年もどうぞよろしくお願い
します。

明けましておめでとう
ございます。昨年4月に
就職したばかりの細木病
院初心者です。前職も病
院で働いていましたが、
病棟で仕事をするのは初
体験です。ヒヤヒヤした
毎日を過ごしています
が、周りの皆様に助けら
れ、充実した細木ライフ
を過ごしています。

新しい年がさらに良い
年になるよう、地道に、
ひとつずつ、目の前で
きることから取り組んで
いき、「猪も七代目」は
豚（いのこ）になる」な
んて言われないように、
初心を忘れず努力してい
きたいと思っています。

平成最後のお正月をい
かがお過ごしでしょう
か。昨年は反省の多い1
年であり、先輩、後輩か
ら「気付き」「きつかけ」
を与えられた年でした。
今年は昨年より「じつく
り生きたいな」と思いま
す。仕事は迅速に、です
が心に余裕を持ち、常に
冷静な判断や振る舞いが
できるよう成長したいで
す。「猪突猛進」し過ぎ
に注意し、仕事では患者
様や職員の変化を、家庭
ではわが子の成長を見逃
さぬよう良い年にしてい
たいです。本年もよろしくお
願いします。

明けましておめでとう
ございます。早いもので
仁生会に入社して14年が
経ちました。日々楽しく、
周りの方から助けられて
仕事をさせてもらってい
ます。
今年は年男ということ



細木病院
主任理学療法士
野口 耕造

で、イノシシのように「突
き進んでやり遂げる」を
目標に考えたのですが、
最近体重が増えてきたの
で、以前やっていたス
ポーツを再開し、体重を
落としたいと思っています。
「猪突猛進」としたら進
み過ぎる印象なので「初
志貫徹」を抱負とし、今
年もどうぞよろしくお願い
します。



三愛病院
看護師
藤本 成加

明けましておめでとう
ございます。早いもので、
先輩方からの手助けがた
くさんあり、就職してか
ら3年目に突入しようと
しています。
入職してから風邪をひ
いたことがなかったの
ですが、昨年11月に風邪を
ひいてしまいました。咳
が出てのどがかわれて、満
足に声が出せない日が数
日続き、皆様にご迷惑お
かけしましたので、今年
は「しっかりとした体調
管理を行い、大きな病氣
をしない」ことを抱負と
して頑張っていきたいと
思います。今年もどうぞ
よろしくお願いします。



細木病院
言語聴覚士
細川 知穂

明けましておめでとう
ございます。今年の春で、
細木病院に就職して丸2
年となります。この2年
間は自分の言語聴覚士と
しての技術や経験の未熟
さを多く感じました。し
かし、患者様やご家族の
方の笑顔を見ることがで
きたときや、感謝をして
いただけたときに、「こ
の仕事をできてよかった
」と感じ、なお一層努
力しようと思うことがで
きました。これからも周
囲の方々への感謝の気持
ちを大切に、日々精進し
ていきたいと思っています。



細木ユニティ病院
薬剤師
松木利矢子

明けましておめでとう
ございます。細木病院に
就職し、細木ユニティ病
院へ異動となり、合わせ
て20年以上仁生会でお世
話になっていきます。異動
したときは正直、不安で
したが、その年の忘年会
で、看護師さんのパワフ



細木病院
内科副部長 医師
丸山 博

ルな楽しい余興を見て、
安心したことを思い出し
ます。
今年は、年号が変わる
年。心機一転!!「笑う門
には福来る」を心に、自
分を含め周りの人たちが
笑顔になるよう、楽しい
亥年1年にしていきま
す。よろしく願いま
す。

明けましておめでとう
ございます。今回、4回
目の年男です。細木病院
での勤務は3年目です。
皆様のおかげで勤務でき
ています。
今年の課題は「健康」
です。規則正しい生活(具
体的には運動、食事、休
養、睡眠)を施行します。
鍵は「嫌にならないよう
に頑張る」です。
そのためには「気が向か
なければサボることも良
し」とします。まともら
なくなりましたがこんな
感じでやっていきます。
今年もよろしくお願い
します。





三愛病院併設の「グループホームいろは丸」の東隣には、障害者施設「すずめ共同作業所」の皆さんが大事にしている畑があります。きれいに整地され、畝ごとに季節折々の作物が見事に育っています。畑作りをス

タートさせる際に、ご挨拶をいただいたことが縁で、作業時にはいろは丸の設備を提供するなど、さまざまな形で交流しています。いろは丸の職員も、大きくなっていく作物を楽しみに見守っていて、食べごろをねらう不心得者がいないか、密かに見張り役もさせてもらっています。

作り手の愛情いっぱい
の無農薬野菜を、土まみれになりながら手にする収穫では、作業所の皆さんに交じって、いろ

は丸の入居者や職員も笑い声に包まれます。おすそ分けをいただき、採れたてをそのまま昼食やおやつに利用させてもらうこともたびたびです。三愛病院の外來で地域の皆さんにもおすそ分けの輪を広げたりしています。今後も地域のなかで顔の見える関係づくりの一助として、施設の垣根を越えた交流を継続していきたいと思ひます。

(あつん高知副施設長 小松雅理)

GHいろは丸
収穫の楽しみを
一緒に！



まつことネット細木《2月の予定》

高知市上町5丁目4-1ピュアリフレビル1階

☎090-7788-1305

月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

◆介護相談（相談無料）

月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

◆まつこと講座『そうだ！お花を生けてみよう！』

13日（水）、27日（水）午後3時～3時30分

◆防災教室「防災事前準備～あなたの地域の被害想定を考える～」

22日（金）午後3時～3時30分

◆笑いヨガ

20日（水）午後2時～3時

◆生きがい交流広場

16日（土）午後12時～1時

◆子育て広場「つみき」

5日（火）午前10時～12時

◆いきいき百歳体操

毎週月と木（祝日休み）午前10時～11時

♥参加費は無料です♥詳しくはホームページでご確認を♥

木
ニ
テ
イ
院
細
木
病
院

第1回公認心理師国家試験に合格！

公認心理師法が平成27年9月に成立、平成29年9月に施行されました。「公認心理師」とは、臨床心理技術者としては初めての国家資格で、公認心理師の名称を用いて（名称独占）、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもつて、①心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分

析、②心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助、③心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助、④心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供、の4つの行為を行うことを業とする者と定義されています。また、平成30年9月に最初の国家

試験が実施されることを踏まえ、診療報酬改定において、精神科デイケアや重度認知症デイケアなどで評価されている臨床心理技術者は、公認心理師に前倒しで統一されています（経過措置あり）。当院では、このたび、池田貴美、大原千春、高橋幸子、米本竜太郎の4名が、第1回公認心理師国家試験に見事合格しました。

◆合格者のコメント

公認心理師は、臨床心理士などの民間資格と業務内容が重なる点が多いのですが、国家資格である点が最大の違いです。合格発表当日は、ホームページにアクセスが集中して、すぐに確認ができません状況が続いていました。合格への不安や心配もあったとは思いますが、それ以上に国家資格

を求める気持ちがこの混雑に表れていたのでしょう。長年の願いであった心理職の国家資格化だったので、そうなるものかたないように思いました。

一方で、国家資格を取ったからといって喜んでばかりはいられません。社会的ニーズは高く、心の問題を抱えた方は増加傾向にあります。心理検査と心理面接をこなせ

たいと思います。（細木ユニティ病院 臨床心理室 米本竜太郎）



フレンドズの「パソコン教室」で、パンフレット作成！

羽織など、笑いと拍手で大いに盛り上がりました。温泉ということで、希望者はゆっくりとお

12月4日、毎年恒例のデイケア・フレンズ忘年会が開催されました。今年の開催場所は、高知市円行寺にある『湯の川温泉』！

忘年会を実施するにあたり、フレンズの利用者さんから実行委員を募ってスケジュールや催しの企画、募集などしてもらい、職員と一緒に何度も

利用者と職員の熱のこもったデュエットショーや二人羽織など、笑いと拍手で大いに盛り上がりました。温泉ということで、希望者はゆっくりとお



二人羽織の様子
うまく食べられるかな～？

細木ユニティ病院
精神科デイケア・フレンズ通信
ハロー★フレンズ
ユニティ最後の
デイケア・フレンズ忘年会
in 湯の川温泉

打ち合わせを重ねながら準備を進めました。
当日、実行委員から参加者に対して、楽しく過ごすために気を付けてもらいたいマナーや食事をする時のポイント（よく噛んで味わう、料理の色や香りを楽しむなど）を説明し、忘年会がスタート！ 次々と

湯につかることもできました。
おいしい料理と催し物、そして実行委員の念な準備のおかげで、楽しい時間を過ごすことができました。来年もがんばろう！と思わせてくれる忘年会になったと思います。
(認定心理士 黒岩恵子)



歌に合わせた小道具作りもがんばりました。
カラオケ以外に“パブリーダンス”も披露！

細木ユニティ病院 音楽療法コンサートのご案内

今年創立65年になる名前のとおり明るく笑顔の絶えない合唱団です。童謡、民謡、ポップス、合唱曲、創作曲など幅広い音楽を、10代から80代の約60名のメンバーで歌っています。細木ユニティ病院では平成12年から歌っており、今年で20回目になります。

2月23日（土）午後2時
出演：高知コーラス合衆団

第413回 ◆ あたがこーラス宅急便

細木ユニティ病院では、月2回ほど、S館6階で音楽療法コンサートを開催しています。
無料ですので、一般の方もお気軽にお越しください。
* 駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する治療法です。



ご存じですか!?

ソーシャルワーカー
からのミニ情報

医療費控除について



医療費控除とは、医療費の負担を軽減するための制度です。本人やその家族がその年の1年間（1/1～12/31）に、医療費を一定額以上支払った場合、納めた税金の一部が戻ります。原則、1年間に支払った医療費が10万円以上であることが必要で、控除額の上限は200万円までです。対象となる医療費は、病院等で支払う診療費や治療費、治療や療養のための医薬品の購入費、通院の医薬品の購入費、入院のための交通費等です。健康診断や眼鏡、補聴器の購入費、お見舞いのための交通費等は含まれませんのでご注意ください。手続きには、医療費の明細書等が必要で、確定申告で行います。5年までさかのぼって申告できます。

詳しい内容等については、ソーシャルワーカーまたはお近くの税務署までお問い合わせください。
(二愛病院医療相談室 山本明公子)



細木病院 診療部



細木病院 診療運営会議



細木ユニティ病院



三愛病院

本年もよろしく お願い申し上げます		仁生会 本部		細木病院	
		理事長 細木 秀美 本部長 細木 鷹子 理事 細木 信吾 理事・仁生会事務局長 細木病院・細木ユニティ病院 事務部長 宮地耕一郎 本部付部長 豊島 正 経営管理部長 門脇 弘幸 人事部長 金子 忠司		院長 堀見 忠司 名誉副院長 松田 勇蔵 北岡 和雄 小林 誠 副院長 上地 一平	
		副院長 西岡 達矢 診療部長／総合診療科部長／糖尿病センター長 上田 祐二 院長／糖尿病・内分泌内科部長／地域連携推進センター長 西岡 達矢 副院長 中村 寿宏 尾崎 信三 中内 昌仁 消化器内科部長 山中 伸悟 循環器内科部長 森下 延真 健康管理センター部長 熊谷 千鶴 丸山 博 弘瀬 祥子 高橋 佳伸 品原 正幸		総合診療科副部長 熊谷 千鶴 内科副部長 丸山 博 内科長 弘瀬 祥子 消化器内科長 高橋 佳伸 内科長 品原 正幸	
		整形外科部長 山崎 晴吾 小児科部長 南場 寛文 小児科副部長 新井 淳一 神経小児科部長 細川 卓利 小児科副部長 堂野 純孝 小児科医師 島崎 真弓 放射線科部長 耕崎 志乃		内科副科長 篠原 雅幸 内科医師 松村 智子 猪狩 俊介 内科医師 古賀 仁 血管外科部長 西村 哲也 化学療法・緩和ケア科部長 安藤 徹 脳神経外科部長 栗坂 昌宏 リハビリ・整形外科部長 山崎 晴吾	
		皮膚科・形成外科医師 野田 理香 病理診断科部長 山崎 義一 事務部副部長 桐生 剛 看護部副部長 豊田 邦江 看護部部長 廣田 明美 医療技術部長 田中 照夫 在宅部長 廣井 三紀		皮膚科・形成外科医師 野田 理香 病理診断科部長 山崎 義一 事務部副部長 桐生 剛 看護部副部長 豊田 邦江 看護部部長 廣田 明美 医療技術部長 田中 照夫 在宅部長 廣井 三紀	
		細木ユニティ病院		院長 吉川 賢一 院長代行 古岡 隆興 顧問 池田 久男 副院長／内科部長 松田 幸彦 診療部長 仁尾 裕 医局長／精神科部長 弘井 正 精神科長 徳岡 雅嘉 心療内科長 岡村龍一郎 歯科医師 細木 弓子 事務部副部長 中嶋 光宏 看護部長 岡崎 郁子	
		総診療科部長 森田 穰二 整形外科部長 市川 利恵 耳鼻咽喉科部長 三好みちよ 泌尿器科部長 山本 志雄 放射線科部長 岩井 智郎 事務部長 植田 宏平 事務部副部長 竹垣 康幸 事務部医事課副部長 大藤 幸一 看護部長 元吉ひとみ		三愛病院 院長 深田 順一 副院長 坂本 賢司 医局長／小児科長 橋詰 稔 内科長 中川 治 内科医師 小野寺真智 上岡 悦子 上村千鶴子 武市 牧子 森田 穰二 市川 利恵 三好みちよ 山本 志雄 岩井 智郎 植田 宏平 竹垣 康幸 大藤 幸一 元吉ひとみ	
		日高クリニック		老人保健施設あうん高知 施設長 細木 秀美 副施設長 小松 雅理 日高クリニック 院長 松本 和博 事務局長 尾原 団 GHひだかの里施設／看護師長 小島すみ江 代表取締役 柳井 康伸 ほか職員一同	



外来担当医表



平成 31 (2019) 年 2 月 予定

じんせい平成31年1月号 (No.385)

仁生会 細木病院グループ	診療科	月				火				水				木				金				土		
		A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M			
★内科初診時は、基本的に専門の内科ではなく、総合診療科または一般内科での診察となります。  細木病院 〒780-8535 高知市大膳町37 ☎822-7211(代) 予約電話 873-3806 ただし、小児科は 822-7211 【健康管理センター】 予約電話 822-7264 ()のドクターは兼務です。	総合診療科	堀上 見田	品 原	中 村		堀 見				堀 見				上 高	田 橋			丸 山	堀 熊	見 谷				
	一般内科	篠猪	原狩	細弘丸	木瀬山	松品	田原	篠原	古賀	菅沼高 高知大 授 猪 橋	弘瀬	松猪古	田狩賀	松田	弘篠原・古賀 (交代)	瀬	担当医 (2名)							
	専門 内科	呼吸器内科			小林 (せき外来)	小林					小林(せき外来) (第2・4週)~15:30 新患のみ								小林	中山				
		消化器内科					中内				上田				中内	中内								
		循環器内科	高知大 瀬尾教授				山中				山中	中嶋	松村	高知大 松村教授 中		西村								
		糖尿病・ 内分泌内科			西岡	丸山	熊田 (甲状腺外来)	谷篠	原丸	山西	岡(甲状腺外来)					西山 (甲状腺外来)								
		糖尿病センター	熊谷	中村			西岡	西岡	中村	中村														
	腎臓内科					(西岡)												高知大 寺田教授						
	内視鏡センター	中高古	内橋賀	中高橋	内橋	高上	橋田	中上高	内田橋	耕高	嶋拓橋	中古	内賀	中廣古	内瀬賀	高上	橋田	弘高	瀬橋	中古	内賀			
	外科	上地	尾嶋 (乳腺・甲状腺)	尾嶋						上地	上地・西村	尾嶋	高知大 坂本 (小児外科)			上地	高知大 花崎教授	尾嶋						
	血管外科	西村								西村														
	緩和ケア科							安藤	安藤						安藤	安藤	安藤	安藤	安藤					
	痛み外来(ペインクリニック)							細川滋										細川滋						
	脳疾患センター (脳神経外科)	栗坂	(手術)			栗坂				高知大 上羽教授				栗坂				栗坂						
	整形外科	1診	北岡	担当医	山川	北岡	山川	北岡	山川	担当医	北岡	高知大 池内教授 予約のみ	北岡	北岡	北岡	高知大 喜安								
		2診	山川	高知大 武政	南場	高知大 泉	南場	高知大 泉	南場	高知大 泉	南場	高知大 泉	南場	高知大 泉	南場	高知大 泉	南場	高知大 泉	南場	高知大 泉	南場	高知大 泉	南場	高知大 泉
	小児整形外科																							
	小児科	1診	堂野	新井	新井	新井	新井	新井	新井	堂野	中岡	新井	堂野	中岡	新井	堂野	中岡	新井	堂野	中岡	新井	堂野	中岡	新井
	神経小児科	2診	富田	堂野	中岡	堂野	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	
		小児こころの外來		細川																				
	耳鼻咽喉科		樋			樋	(手術)			樋				樋				樋						
	皮膚科・形成外科	野田	野田(手術) ~15:30							野田					野田				野田					
泌尿器科					蘆田								山本											
放射線科		耕嶋			高知大 南口 9:00~12:00	高知大 梶原 13:30~16:30			耕嶋				耕嶋					耕嶋						
セカンドオピニオン外來			(細木) 13:00~15:00																					
健康管理センター (健診・人間ドック)	森下				森下				森下	森下・弘瀬	森下	森下・弘瀬	森下	森下	森下	森下	森下	森下	森下	森下	森下	森下	森下	
乳がん	尾嶋				上地									上地				尾嶋						
子宮がん					濱脇																			

細木ユニティ病院 ★初診の方は予約制です。 (8:30以降に外来まで、お電話でご予約ください。) 〒780-8535高知市西町100 ☎802-3366(代)	精神科	再診	吉岡	徳岡	高知大 赤川 10:00~	岡村 徳岡	吉岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡村	徳岡	弘井 岡
--	-----	----	----	----	------------------	-------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	----------	----	---------

発行所 高知市大膳町37 高知市大膳町37 高知市大膳町37
印刷所 高知市大膳町37 高知市大膳町37 高知市大膳町37
発行所 高知市大膳町37 高知市大膳町37 高知市大膳町37
印刷所 高知市大膳町37 高知市大膳町37 高知市大膳町37